

# 「EGFR-TKI 既治療例におけるエルロチニブ、ラムシルマブ併用療法の後方視的検討」 へご協力をお願い

— 2021年1月～2022年6月の間に、当院でエルロチニブ、ラムシルマブ併用療法を受けた患者様へ —

研究責任者 岩国医療センター 呼吸器内科 田村朋季

## 1. 研究の背景・目的

エルロチニブ、ラムシルマブ併用療法は EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺がんの初回治療として、標準治療の一つとして確立した治療の一つです。EGFR 遺伝子を標的とした分子標的治療薬の耐性後の治療としては T790M 変異に対するオシメルチニブが標準治療として示されているものの、それ以外の耐性化については未だ克服できていません。ただしそのような場合においても分子標的治療薬の再投与が一定の効果を示すことは知られています。この研究の目的は、エルロチニブ、ラムシルマブ併用療法の EGFR-TKI ですでに治療を受けたかたにおける治療効果を評価することで、今後の治療において治療の生存成績を向上させることです。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2021年1月～2022年6月までに当院でエルロチニブ、ラムシルマブ併用療法を受けられた患者様のうち、すでに EGFR-TKI で治療を受けたことがあるかたが対象となる予定です。

### 2) 研究期間

2022年7月開催倫理委員会承認後～2024年6月

### 3) 研究方法

研究者が既存のカルテ情報からの情報を取得し、解析を行います。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は性別、年齢、BMI（身長と体重から計算）、併存症、肺がんに対してこれまでにやってきた治療内容、血液検査、治療効果などの情報です。

### 5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後5年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配はありません。この研究にご質問等がありましたら、下記の間合せ先にお尋ね下さい。

## <問い合わせ・連絡先>

研究責任者：岩国医療センター呼吸器内科 医師 田村 朋季

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号

TEL 0827-34-1000（代表）